



ダイナースクラブへの信頼度は高く、紹介されたお店や企画されたイベントは、けっして期待を裏切りません。これからもそうした企画を共にご提供していきたいです。

— 清水 肇 ^{はじめ}
代表取締役 総支配人

右：1984年に「ホテルニューオータニ（東京）」開業20周年記念事業として、世界唯一の支店として誕生した「トゥールダルジャン 東京」のメインダイニング。下：一流のギャルソンたちがクロスを整え、テーブルセッティングを行う。その所作は美しい。

絆を語る

第七回 ホテルニューオータニ（東京）

写真・永田忠彦 文・山下シオン



・ホテルニューオータニ（東京）

住所：東京都千代田区紀尾井町4-1
電話：03-3265-1111
<https://www.newotani.co.jp/tokyo/>

・トゥールダルジャン 東京

（ザ・メイン ロビー階）
電話：03-3239-3111
営業時間：ランチ12:00～13:00（L.O.）、
ディナー17:00～20:00（L.O.）
定休日：月・火・水曜

上：オーダー後に鴨をローストする「プティカナルフレデリックのローストマルコポーロ」は伝統の一皿。右下：ソーテルスワインとポートワインのジュレを添えたトゥールダルジャン特製「フォアグラ三皇帝風」は、目の前でサービスされる。左下：「鴨番号」を記載したカードが記念として贈られる。



『ホテルニューオータニ（東京）』は、1964年の開業後の間もなく発足させた会員組織「紀尾井クラブ」に、いち早く入会時のクレジット審査を導入しました。ダイナースクラブとはそうした背景のもと、パートナーとしての関係性を深めてきました。



日本屈指のホテルとして知られる『ホテルニューオータニ（東京）』。500名からスタートしたホテル会員組織「紀尾井クラブ」はダイナースクラブの審査基準を満たすことが入会時の条件だった。以来、35周年に当たる1999年より「ニューオータニクラブダイナースカード」という国内会員提携クレジットカードを導入するなど、その絆を深め、現在は国内外を合わせて約11万人の会員数とステータスの高さを誇る顧客組織となっている。この連載の最終回は、総支配人の清水肇氏にお話を伺った。

— ダイナースクラブとの歩みにおいて、どんなことが印象に残っていますか？

「私が入社した40年前の頃は、ダイナースクラブはすでにステータスの高いカードでした。私個人としましては、いつかダイナースクラブのカードホルダーになりたいという憧れを抱いていました。当時は、33歳にならないと審査資格が得られませんでした。実際には35歳になった時に、ダイナースクラブに入会させていたのだいて、同時にゴルフ場のメンバーシップにも入りました。私も紳士淑女の入口

ダイナースクラブ60周年記念優待

『トゥールダルジャン 東京』での特別ダイナーと『ホテルニューオータニ（東京）』内のホテル・イン・ホテルでフォーストラベルガイド2年連続5つ星の『エグゼクティブハウス 禅』での宿泊がセットになった特別プランです。

優待期間：
2020年12月1日（火）～2021年3月31日（水）
*12月29日～1月5日を除く。*水曜～日曜チェックイン限定。

客室一例：エグゼクティブ デラックス（50㎡）
（1泊室料、夕食、朝食、税金・サービス料含む）
2名1室利用：160,000円～

*水・木曜のご宿泊の場合は、スイートルームへアップグレードします（空き室状況による）。
※その他のお部屋タイプもございます。詳しくはお問い合わせください。

●エグゼクティブハウス 禅 宿泊特典

- ・滞在中のエグゼクティブラウンジへのアクセス（7:00～21:30）
- ・1日6回のフードプレゼンテーション
- ・選べる朝食
- ・専任コンシェルジュによる滞在中のサポート
- ・会員制スポーツクラブ
- ・「ゴールドスパ・ニューオータニ」の無料利用
- ・専用駐車場の無料利用

宿泊ご予約/お問い合わせ
電話 03-3234-5678
（『ホテルニューオータニ（東京）』客室予約直通）

ビスが用意されていることにも魅力があります。かつてあった「社台ダイナースクラブの馬が日本ダービーで優勝した際に、「トゥールダルジャン 東京」を

に立つことができたのだと、それがすごくうれしかったです。ダイナースクラブは単なる決済機能だけではなく、クラブであり、会員誌『シグネチャー』を拝見すると、いろいろなイベントやレストランの紹介、豊富なサービスが用意されていることにも魅力があります。かつてあった「社台ダイナースクラブの馬が日本ダービーで優勝した際に、「トゥールダルジャン 東京」を

「ダイナースクラブは信用力がすごくあり、会員になるとするのは、単にクレジットカードを持つとは違うと思います。成熟した社会になっていくと、ますますクラブとしての活動がメインとなってくるでしょう。有名シェフを招いたイベントなど、独自の企画力も期待されています。これからは紳士淑女が参加できる素晴らしい企画を立てていただくことが、一番喜ばれるのではないのでしょうか」

— 60周年の節目にスタートした「ここ」でしか、見つけられないものがある。このメッセージのもと、絆を深めてきた加盟店と手を携え、ダイナースクラブはさらに進化を続けていくことでしょう。